

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎堀江正男			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎堀江 正男	【研究室】 315
【本学の科目区分】 専門基礎科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】		

到達目標	人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造について的確に表現できるようになるとともに、臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につける
------	--

授業概要	正常な人体の構造と機能について、細胞・組織・器官および器官系まで統合して理解する
------	--

授業計画	1	解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：構造からみた人体、人体の様々な器官 備考：テキスト p. 8 ~ p. 27
	2	解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：素材からみた人体 備考：テキスト p. 27 ~ p. 54
	3	解剖生理学のための基礎知識 授業形態：対面 学習課題：解剖生理学のための基礎知識 学習内容：素材からみた人体 備考：テキスト p. 27 ~ p. 54
	4	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：神経系の構造と機能、脊髄と脳 備考：テキスト p. 358 ~ p. 371
	5	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脊髄と脳（続き）、脊髄神経と脳神経 備考：テキスト p. 371 ~ p. 383
	6	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脊髄神経と脳神経（続き）、運動機能と下行伝導路、体性感覚と上行伝導路 備考：テキスト p. 383 ~ p. 396
	7	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：眼の構造と視覚 備考：テキスト p. 396 ~ p. 407
	8	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、痛み（疼痛） 備考：テキスト p. 408 ~ p. 420

	9	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：脳の統合機能 備考：テキスト p. 420 ~ p. 432
	10	情報の受容と処理 授業形態：対面 学習課題：情報の受容と処理 学習内容：自律神経による調節 備考：テキスト p. 240 ~ p. 249
	11	身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋 備考：テキスト p. 282 ~ p. 296
	12	身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋 備考：テキスト p. 296 ~ p. 309
	13	身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：上肢の骨格と筋（続き）、下肢の骨格と筋 備考：テキスト p. 310 ~ p. 323
	14	身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：下肢の骨格と筋（続き）、頭頸部の骨格と筋 備考：テキスト p. 324 ~ p. 339
	15	身体の支持と運動 授業形態：対面 学習課題：身体の支持と運動 学習内容：筋の収縮、運動と代謝 備考：テキスト p. 339 ~ p. 355
事前・事後学習		事前学習：各授業回で学習する内容について、必携図書に目を通して予習する 事後学習：各授業回で学習した内容を復習する
評価方法、評価基準		到達目標に対し、定期試験にて達成度を評価する（100%）
必携図書		系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 1 (医学書院) 「系統看護学講座」準拠 解剖生理学 ワークブック (医学書院)
参考図書・資料等		適宜紹介する
受講、課題、資料配布等のルール		授業中の私語を禁止します
教員からのメッセージ		形態機能（解剖生理）学は医療従事者を目指す者にとって疾病やその治療を理解するための基礎となる科目です。人体の正常な構造と機能を理解することで、正常ではない状態（疾病）への気づきを与えてくれます。
オフィスアワー		